



薄い文字をゆっくりなぞりましょう

出でし月かも

三笠の山に

春日なる

ふりさけ見れば

天の原

作者： 阿倍仲麻呂

年代： 奈良時代

出典：『古今和歌集』・『小倉百人一首』

意味

大空を見上げると月が出ている。
あの月は、故郷の奈良・三笠山に出ていた月と同じなのだなあ、という歌です。